

## 令和3年度 第3回 合同幹事会 議事録

総務委員会

2022年1月23日

日時：令和4年1月22日（土） 午後1時00分～3時00分

会場：Zoom による会議（喜山クラブの使用は中止）

会費：Zoom 参加者はなし

出席者：濱名誉会長（高8回）佐藤会長（高10回）塚原参与（高10回）巢山名誉顧問（高11回）

奥原参与（高11回）三澤幹事長（高18回）久保田副会長（高18回）青柳相談役（高20回）

小松副会長（高23回）小林会計委員長（高23回）佐原サイト委員長（高23回）荒木参与（高

23回）衣袋レディース委員長（高27回）戸田広報委員長（高28回）森本総会指導委員長（高

28回）脇川財政委員長（高28回）中野参与（高28回）佐藤事務局次長（高30回）伊藤渉外委

員（高34回）片桐100周年記念事業委員（高35回）丸山レディース委員（高38回）

濱田委員（高43回）草野委員（高43回）松沢実行委員長（高44回）高橋実行委員（高44回）

二木6年委員会副委員長（高45回）百瀬総務委員長（高27回）計26名

### 1. 開会の辞：三澤幹事長挨拶（高18回）

- ・ こんにちは、皆様今日のご苦労様です。
- ・ 今回は、Zoom 参加と喜山クラブ併用のハイブリッド方式で企画しましたが、コロナが再発しましたので Zoom 会議に変更しました。
- ・ 今年は、昨年に比べて1回増えましたが、お互いに使い方にも慣れて来たので宜しくお願ひします。

### 2. 佐藤会長（高10回）

- ・ 皆さんご無沙汰していました。
- ・ 1月3日に縣陵の本部新年会があり、東京からも10名前後が参加して、東京の元気づりを紹介しました。
- ・ 今年もいろいろと有ると思いますが、お手伝いを宜しくお願ひ致します。
- ・ 皆さんコロナに気を付けて頂き、この会がコロナに振り回されることのないようにして頂ければと思います。
- ・ 100周年に向かつての準備もありますので、今年も宜しくお願ひ致します。

### 3. 議題

(1) 第55回総会・懇親会の準備状況について 松沢実行委員長（高44回）

- ・ 前回の合同幹事会には出席できなかったため、今回が初参加となります。前実行

委員長の濱田さんから襷を引継ぎ、今回の第55回総会・懇親会の実行委員長を務めさせていただきます高44回の松沢と申します。宜しく申し上げます。

- 早速ですが、第55回第55回総会・懇親会の準備状況について説明いたします。  
(資料1-1を参照)
  - 日時：2022年6月11日(土) 12:30～15:30
  - 実施会場：アルカディア市ヶ谷「富士の間」を予定
  - 参加費：10,000円(若手優遇割引の継続を検討中)
  - 実行委員会の名称：縣陵44(よんよん)会(松本愛のリレーと同一)
  - 実行委員(現時点)：松沢(委員長)、深澤(副委員長)、高橋(会計)、高山(広報)、林、百瀬の6名
  - テーマ：紡ぐ～前へ 前回のテーマ「結(ゆい)、時をつなぐ、人をつなぐ、縣陵愛～Connecting the Dots」の想いも引き継ぎ(紡ぎ)、どこか分断されてしまったような現在の社会、なかなか会えない友や故郷のこと、対面でのコミュニケーションが難しくなっている今、それでも前へ進んでいくこれからの新しい社会、新しい結びつき、多様性、共有と いったものを大切に、母校という繋がりを、あらためて交流の新しい形、同窓生同士の繋がりと、紡いでいきたいという想いを込めた。
  - 開催方針：コロナまん延防止等重点措置下での開催も念頭に、三密回避を前提としつつ、社会的通念に反しない範囲で、開催実施を目指す。
  - 開催方法：
    - 案1) メイン会場「市ヶ谷アルカディア(富士の間)」にて、最大収容人数300名のところ、密回避として“5～6割=150～180名程度”を定員とする。会場費など固定費負担が相対的に増すため、
    - 案2) メイン会場「市ヶ谷アルカディア(富士の間)」での参加者150名程度に加え、協力いただける同窓生のお店をサブ会場として、サテライト会場1(定員30名)、サテライト会場2(定員15名)、サテライト会場3(定員50名)など設ける。
    - 案3) 東京以外、松本にてサテライト会場A(幹部の方など)、サテライト会場B(44回生同期)、など設ける。
- 上記はいずれも、コロナの見通しが不透明な中、現地会場への来場者数の抑制・分散を念頭に、Zoomなどを使ったハイブリッド方式での開催方式を含む最適な方法を模索・検討するもの。コロナの状況により規模縮小や時間短縮も要検討。
- 定員制とする場合はどのように定員内に納めるか、また、各会場での会費設定額や全体収支のバランスなど、具体的な内容は今後のコロナの先行きを見ながら検討を進める。

Zoom会議スタイルでの長時間の個人顔出しなどはせず、各会場をオンラインで適宜繋ぎ（紡ぎ）つつ、各会 場での参加者の懇親・その場作りを基本イメージとする。

・ 活動報告：

2021/12/8、12/9 ： 森本総会指導委員長、戸田広報委員長、第54回濱田実行 委員長らと、懇親会および会報に 関する意見交換 を実施

2022/1/15 ： 荒木参与、森本総会指導委員長、戸田広報委員長らと、会報キックオフミーティングを実施

(森本総会指導委員長より補足) 資料：1-2, 1-3 を参照

- ・ 資料：1-2, 1-3 を参照して頂きたい。
- ・ 本年も課題が多い。コンテンツについてもまだ決まっていない。
- ・ 開催の可否は3月末には判断したい。（会報あがたの発行ともリンクする）
- ・ 過去は、300人以上を集めたことも有ったが、現状、そこまでの参加者数は無理だと考えている。
- ・ Zoomによるオンライン開催をするにしても、昨年と同じことをやっても仕方ないので、どのような趣向でできるかを詰めて行きたい。
- ・ 今までは、1月に予算案も出してきたが、今回は3月末までに作成したい。

「昨年と同じことをやっても仕方ない」との話が有ったがどういうことか。予算とか、何か背景があるのか。選択肢を狭めるのはどうか。（二木6年委員会副委員長）

➡（森本）去年25画面で実施、海外組・個別参加など2時間半に亘って拘束した形で参加して頂いたが、話は5分だったりして、躍動感が伝わらなかったという指摘も有った。また、去年は、テレビ松本の方7名に手伝って頂いた（費用50万円）が、今回はどうするかなどを考えて行きたいということ。

(三澤幹事長)

- ・ 基本的に考え方は、その時の実行委員会の皆さんがこのような形でやりたいとということを明確に示して頂き、それに対して同窓会としてどう協力できるかということにある。昨年もいろいろな形（案）を検討した中で、去年のスタイルを作った。お蔭様で参加者の寄付金も多かった。
- ・ 先ずは、実行委員会の中で「どういうことをやりたいのか」ということを、森本総会指導委員長と一緒に詰めて頂きたい。
- ・ 総会議決の絡みとの出席者数の取扱いについては、松本本部は一般社団法人になっていて、会員29,000人ほど居り、その5%の出席で総会が成立するというルー

ルになっているが、東京同窓会では会員基準も曖昧（会報「あがた」の送付先は約3,000名）で、当日の参加者数の賛成を持って成立としている。コロナ禍でもあり、暫定ルールで考えて頂いて良いと思います。

※ 本日の報告内容で準備を進めていく事を全会一致で承認した。

- (2) 会報あがた第44号発行について 戸田広報委員長（高28回）
- 資料2に基づいて、「東京同窓会・会報「あがた」第44号発行計画」と「会報「あがた」第44号編集企画案12ページ台割案」について説明（詳細は資料参照）
  - 先週の土曜日に、会報あがた44号のキックオフミーティングを実施した。（戸田広報委員長、森本総会指導委員長、濱田前実行委員長、松沢実行委員長、高山実行委員、荒木参与が参加）
  - 昨年と同様に12ページの構成で、約3,000部の発行を計画している。
  - 原稿・広告は3月15日に締め切る予定、編集・校正を経て4月12日に電算印刷に原稿を入稿する。例年は、4月に母校愛のリレーに送っていたが、愛のリレーは確定ではないが9月予定と聞いている。東京同窓会会員には4月末頃に発送する予定。
  - 12ページの台割案は、資料を参照のこと。

※ 本日の報告内容で準備を進めていく事を全会一致で承認した

- (3) 令和4年度事業計画骨子について 百瀬総務委員長  
(資料4に基づいて説明)
- ※ 審議後、質疑応答の後、全会一致で承認された。
- 3月末頃に予定している次回の合同幹事会にて、令和3年度の事業報告と結粗餐報告、令和4年度の事業計画案の詳細と予算案を審議するので、それに向けた準備を各委員長に依頼した。

- (4) 学年幹事に選出について 百瀬総務委員長
- 現在、各学年幹事からの推薦を受け付けている状況。
  - 一部の学年からが未提出なので督促中。1月中に大勢を固めたい。その後、役員の方々と相談して、次期の役員改選の原案を作成し、3月末までに新体制案を固めたいと考えている。
  - 引き続き、皆様のご協力・ご支援をお願いします。

(5) 東京同窓会のHPの件

二木委員（高45回）・草野委員（高43回）・濱田委員（高43回）

（資料5に基づき、現在の検討状況を報告）

- 二木委員が資料に沿って説明、
- 現在の検討内容（詳細は資料を参照）は以下の通り
  - 佐原さんからの運営引継ぎ(2022年3月～4月)
  - 直近のコンテンツ更新予定(新卒生向けアプローチ)
  - 2022年4月以降のHP制作システム、環境
- 現在検討しているHP作成方式は大きく以下3つがある。

WordPress    Headless CMS    現行 BiNDup の継続利用

それぞれのメリット・デメリット、費用等を総合的に判断して決めたい。
- （二木委員）Headless CMS は WordPress の新型、手掛けるとしては面白いし若者を取込める。ただし、出来るのが草野さん一人に限られるので、負担を掛けないためには、当面継続利用するBiNDupを恒久的に使うことも選択肢にすべき。
- （草野委員）BiNDup は元々は個人向けのソフトだが、設計が古いのでニュースの配信には適さない。WordPressやHeadless CMSは会社案内にも使われている。WordPressは小規模会社向けで簡単に使えるが自由度がなく古い。私の押しはHeadless CMSで、コーセー・日経新聞のスマホ等でも使われていてサクサク動く。ここ数年間では、WordPressから他のソフトへの変更が相次いでいる。私自身が、同窓会には大変助けられたので、その恩返しもしたいと考えている。コンテンツの運用については、若者はスマホしか持っていないので分かってきたので、スマホで気軽に投稿できる機能が必要になってくるので、それに合ったソフトに代えて行きたいと考えている。松本本部も運用を個人会社に委託している。素人では難しいが、それなりの経験を積んだエンジニアであれば、調べながら物を作ることができるので、メンテナンスは可能。
- （濱田委員）喫緊の課題は、佐原さんからの引継なので、BiNDupを継続して使用していく。その一方で、新しい機能や時代に沿った機能を使った同窓会の活性化、100周年に向けてどうするか、他の同窓会との差別化などの為に、次のシステムとしてどれを使うのかの検討を続けて行きたい。
- （二木委員）現在の検討状況は報告の通り。今後、皆さんのご意見やアドバイスを参考にして検討を続けて行きたい。
- （佐原）非常に頼もしい3人衆で大変期待している。新しい人がやることを最優先に考えてサポートしていきたい。年寄りには未知の分野。これまでに紙に掛けてきたお金をWebに掛けるよう考え方を変えていく必要がある。予算配分も大胆に考えて頂きたい。

- (荒木) Webだけにしたら50万円ほどの広告を集めている。HPでも運営費を集めることを考える必要もある。
- (三澤) 東京同窓会がHPを立ち上げて20年、佐原さんや高嶋さんに助けられてここまで来た。これからは、卒業した若い人も年寄りも使えることが必要。松本本部のサーバーは、東京の100倍の容量があるので、東京だけでなく関西でも使えると良い。本部も若い人も含めて活用できることが必要と思う。
- (佐原) Webで収益を上げることは無理。同窓会は収益を上げる必要はない。いろいろな年代の人が情報を共有して楽しむ・懐かしむことが出来れば良いので収益を上げる必要はない。同窓会の運営の考え方も変える必要がある。
- (森本) 現在の検討の方向については全面的に賛成する。コンテンツについては、女性の視点も入れると良いと思う。

※ 始めてこの話を聞いたという方もいるので、皆様のご意見やアドバイスを聞きながら議論を深め、最終的により良いものを作っていく。引き続き、皆様のご協力をお願いします。

#### (6) その他同好会からの報告

- ① アルペン会等のゴルフ会について 青柳相談役 (高20回)
  1. 中信同窓連 令和4年3月10日(木) 集合 午前8時10分  
青梅ゴルフ倶楽部 募集人員 参加校全体で 8組 32名
  2. 東京同窓連 令和4年3月23日(木) 集合 午前8時20分  
武蔵の杜カントリークラブ 募集人員 参加校全体で 12組 48名
  3. アルペン会 令和4年4月21日(木) 集合 後日ご案内  
上野原カントリークラブ

皆様のご参加をお待ちしています。
- ② あひるの子の会 久保田副会長 (高18回)
  - コロナ禍の中、制約が多いが、出たい人が居る限りは環境を整えて歌えるようにしていきたい。やれる日の方が少ないが、世の中の動静を見ながら活動していきたい。

審議を15時00分に終了した。

役員改選が有るので、代表幹事会を2月末、次の合同幹事会を3月末に予定。

改めて連絡する。

以 上